

5歳児の園児たちが 海岸清掃を行いました！（第6回）

日本財団「海と日本プロジェクト」推進パートナーとして、海岸清掃を行ったことについて、以下の記載内容にて活動を報告させていただきます。

今後とも、さまざまな形で社会貢献・地域貢献活動を実施したいと思っております。



記

- ・日時、参加者 令和5年9月19日（火）
 あすなろ保育園 5歳児さくら組 52名と職員
 令和5年11月7日（火）
 あすなろ第2保育園 5歳児さくら組 46名と職員
- ・清掃場所 あすなろ保育園 出雲市多伎町 久村海岸
 あすなろ第2保育園 出雲市多伎町 久村の浜
- ・趣旨



社会福祉法人あすなろ会は、日本財団「海と日本プロジェクト」推進パートナーとして活動しています。

「海と日本プロジェクト」とは？ ～海と人と人をつなぐ～

さまざまな形で日本の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

今回は、海と日本プロジェクトが推進する5つのアクションのうち「海をきれいにしよう！」に取り組みました。海にはさまざまなものが流れ着きます。海でゴミ拾いをすると、たくさんの驚きと発見に出会います。ひとりではなく、多くの人と一緒にゴミ拾いをすると、きれいになった砂浜を見て、達成感を分かち合えるばかりか、海との関わり方について、それぞれが考えるようになります。

また、社会福祉法人あすなろ会は、社会福祉の更なる向上に寄与すべく社会福祉法人事業（保育・児童・介護・障がい等）・公共事業・地域貢献等の活動を実践するとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の『17の目標』達成に向けて、今回は「14. うみの豊かさを守ろう」に取り組みました。海岸清掃を通して、海ゴミのゼロ化に貢献し、子どもたちが海をきれいにすることの大切さを心の中に刻むことが出来ました。また、漂着物がどのようにしてここに運ばれたのかななどを考えることで、海でつながる世界に思いをはせたり、海のSDGsについて考えたりするきっかけになりました。今を生きる私たちが起こすアクションが未来の青い海を守っていくのです。

